

第6学年 総合的な学習の時間 活動略案

令和7年11月21日 5校時
6年4組 30名

1. 単元名「四季彩菓～Harmony of Heart and Seasons～」

2. 本時のねらい

和菓子作りについて探究してきたことを生かし、味や見た目にこだわりをもって和菓子作りを行う楽しさを味わうようにする。

3. 教師の願い

○単元名にあることを心の中に置き、探究してきた和菓子作りを楽しんでほしい。

○作った和菓子に対して、こだわりと誇りをもつていてほしい。

4. 前時の様子

前回作った和菓子の振り返りをしながら、前回の良さを生かしつつ、課題になったことを明確にし、本時ではどのような和菓子を作るか、個人で探究したり、同じ目標をもつ友達と話し合ったりした。

5. 本時の展開(35/52)

主な学習活動(予想される子どもの思い・願い・考え)	○…留意点等	評…評価
作った和菓子を鑑賞し合い、季節感の工夫や思いを共有する。		
1. 進捗状況を確認する。 C:季節感を表現するために色を変えてみよう。 C:練り切りの模様を前回と変えてみよう。 C:包餡が厚いと色が出にくいくらい薄くしてみよう	○前回の作品の良さを生かす部分と、課題の部分を明確にして、和菓子を作っていることを改めて確認する。	
2. 和菓子作り(最終調整)を行う。 C:前回うまくいかなかったところを成功させる。 C:作品にかける思いを意識して作る。 C:見たり食べたりする人にこの作品でこんな思いをもつてほしい。	○クラスでのこだわり(単元名)を意識できるように声掛けする。 ○前回の反省を基に、一人ひとりがこだわりを意識できるように掲示する。	
3. 完成した和菓子を友達と共有する。 C:色の表現の仕方が絶妙。 C:餡の工夫がいい。自分の作品にも取り入れたい。 C:もうちょっと見た目にこだわってもいいね。 C:季節感をどこで表現したのかな。 C:雰囲気が違う作品を並べてみるとどうかな。 C:この作品を見ると、○○を思い出すなあ。 C:全部をセットにしたらどんな風になるかな? C:この作品を見ると、こんな気持ちになるなあ。	○自分の思いが相手に伝えるために、どのような工夫が必要か整理する。 ○目指している目標を共にしている仲間と、互いの和菓子を鑑賞し合うことで、同じ視点で感想を伝え合えるようにする。	評自分が探究したことから課題を解決しようと、こだわりをもつて和菓子を作っている。 【思・判・表】(観察・ロイロノート)
4. 片付けをする		
5. 本時の活動を振り返る。	○本時の活動を振り返り、感想や考えたことを共有する。次回、どんな活動をしていくかを考える。	